

BBCのEU国民投票で考える 報道の公平性

NHK放送文化研究所 上級研究員
田中孝宜

セッションの流れ

プレゼン「BBCの国民投票報道」

イングリッシュ氏講演 「BBCの目指す公平性」

対談

コメンテーター 音教授 登壇

質疑応答

ゲスト スー・イングリッシュ氏



2005年～2016年 BBC政治番組部の統括

2010年総選挙で、イギリスで初めての
テレビ・ディベートを導入した際、放送局側と
政治家側との交渉を議長として率いた。

コメンテーター 音好宏 上智大学教授



上智大学文学部新聞学科

日本民間放送連盟研究所、コロンビア大学客員
研究員などを経て、2007年7より現職

海外のメディア事情を含めたメディア論、
情報社会論が専門

Impartial (不偏不党・公平性)

新聞

「残留・離脱」支持表明

残留: ガーディアン・タイムズ・FT・・・
離脱: デイリーテレグラフ・サン・・・



高級紙は概ね「残留」
大衆紙は「離脱」中心

放送

公平な報道に徹する

BBC報道ガイドラインの最重要項目
商業放送(民放)も公平な報道

※アメリカ
1987年「公平原則」撤廃

EU国民投票 公平な報道のために

投票用紙

Referendum on the United Kingdom's membership of the European Union	
Vote only once by putting a cross <input checked="" type="checkbox"/> in the box next to your choice	
Should the United Kingdom remain a member of the European Union or leave the European Union?	
Remain a member of the European Union	<input type="checkbox"/>
Leave the European Union	<input type="checkbox"/>

離脱 51.9% / 残留 48.1%

国民投票までの流れ

- 2015.5 総選挙で保守党圧勝
キャメロン首相 国民投票実施を表明
- 2015.6 メディア担当相 BBCに書簡
「国民投票で公平な報道を」
- 2015.9 BBCハーディング報道局長 議会特別委員会
「EU国民投票についての
研修を全報道職員に」
- 2016.2~3 オンライン研修実施
- 2016.2.18 EU報道ガイドライン公表 ⇒職員へ周知
- 2016.2.21 キャメロン首相 6月23日 国民投票を発表

オンライン研修

コース内容(1時間30分)

全7項目

- ①EU基礎
- ②EUの仕組み
- ③立法と意思決定
- ④予算
- ⑤司法と権利
- ⑥国境と選択的離脱
- ⑦イギリスの国民投票

研修の流れ

基本事項の説明⇒VTRレポート視聴⇒
クイズ⇒答え合わせと解説



オンライン研修

教材用リポート作成に現役記者も協力



「スイスはEUの一員ではありませんが、パスポートなしでフランスやドイツに行けます。時計の輸出では単一市場を享受しています。そのために100以上の個別の協定を結んできたのです。

2016年2月～3月

- ・約6000人の報道職員⇒9割以上受講
- ・マーク＝ジェームズ
元ブリュッセル支局長が
中心になって教材作成



オンライン教材は
繰り返し見られる。
キャスター、記者、
ディレクターから
参考になると好評

EU国民投票 公平な報道のために

EU国民投票報道ガイドライン

2月18日 BBCTラストが承認、公表

全15ページ：
「公平性」
「ディベート」
「ネット・SNS」
「世論調査」
など9章

CONFIDENTIAL	
BBC Referendum Guidelines	
Referendum Campaign on the UK's membership of the European Union	
1. Introduction	2
1.1 When the Guidelines come into effect.	2
1.2 The Referendum Question and the Referendum Period	2
1.3 Principles of the Guidelines	2
1.4 Application of the Guidelines	2
2. Mandatory Issues	4
2.1 Mandatory Referals	4
2.2 Mandatory Guidelines	4
2.3 Polling day	5
3. Due Impartiality covering the Referendum	5
3.1 Broad balance	5
3.2 Responsibility for achieving broad balance and due impartiality	5
3.3 Coverage of stories where "broad balance" may not apply	6
3.4 Language Services	7
3.5 Language, Images and Analysis	7
4. Debates and Discussions on the Referendum Issue	8
4.1 Strands of Argument and Campaigners declining to take part	8
4.2 Participants in Debates and Discussions	8
5. Coverage of other political issues in the UK during the Referendum Period	9
5.1 Political issues	9
5.2 Parliaments, Assemblies and Councils	10
6. Online, Social Media and Audience Contributions	10
6.1 Use of Social Media	10
6.2 Audience contributions	10
6.3 Visiting	11
6.4 Audience Programmes, including Debates	11
7. Polls and other tests of opinion	13
7.1 Reporting Polls	13
7.2 Commissioning Polls	14
8. Party Leader Interviews	14
9. Polling Day	14

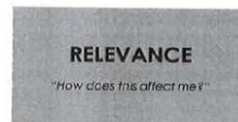
全国巡回ブリーフィング 36回1330人参加

●ガイドラインの周知

地域の実情に合わせて説明

●視聴者調査結果の説明

- ①EU理解のための基礎解説
- ②事実、統計、専門家の意見
- ③公平性
- ④政治家への厳しい追及。
- ⑤多様なプラットフォームで報道



「自分との関係性」 「複雑でわからない」

BBCの国民投票報道



Question Time

- ・キャメロン首相(残留派) ゴープ司法相(離脱派)に市民が質問
- ・質問内容は事前に通告なし。
- ・残留派には「移民問題」、離脱派には「経済への影響」など双方にとって厳しいテーマに質問が集中。



ディベート

- ・BBCはスコットランドとロンドンでディベート実施
- ・最後は6月21日、投票2日前ウェンブリーアリーナ会場に6000人の市民(申し込みは2万人以上)



一般番組

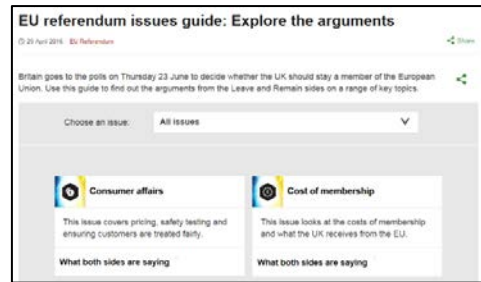
- ・左写真「カントリーファイル」(農村・漁村の生活紹介)
残留派キャメロン首相と離脱派ジョンソン議員が登場

BBCの国民投票関連サイト



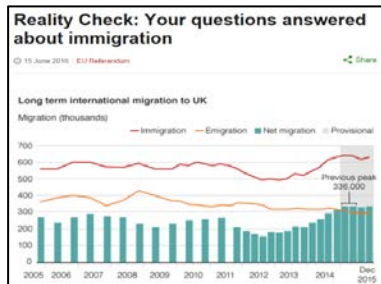
『All you need to know』 EU 問題の基礎

視聴者調査結果 「自分との関連性」「複雑でわからない」
⇒ EU に対する基本的な理解を促進



『Issues guide』 議題ごとの対立点

「移民」や「貿易」などテーマごとに双方の主張をまとめた



『Reality Check』 事実チェック

双方の「発言内容」「データ使用法」などをチェック
視聴者の質問にも答える

公平性は保たれたのか？

ニュース視聴調査班

毎週3種類「公平性」調査

1～10段階で公平性を聞く

- ①フォーカスグループ
- ②外部調査会社に委託
- ③ウェブ調査

総じて公平だという調査結果

- 一部「BBCは残留寄り」という意見。
しかし「何となく」という印象論がほとんど
- 逆に「BBCの立場を明確にしてほしい」との意見もあった

監督機関BBCトラスト



リチャード・エア氏
BBCトラスト エディトリアル担当

苦情の数は予想より少なかった。

- 「BBCに立場を表明してほしい」との意見があったが、それはBBCの役割ではない。
- 意見を述べるメディアは他にいくらでもある。BBCの役割は人々が判断するための材料を公平に提供すること。

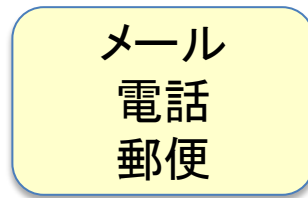
BBCの視聴者への説明責任

苦情紹介番組『Newswatch』



放送時間

- BBCニュースチャンネル(24時間ニュース)
毎週金曜日夜9時30分～
- BBC1(メインの総合チャンネル)
毎週土曜日朝7時45分～(Breakfastの中)
- キャスター:サミラ・アーメッド
プロデューサー:ジェームズ・マレット
- 番組開始2004年～



国民投票後

翌朝 キャメロン首相辞任



残留支持 デモ行進



BBCの視聴者への説明責任

ハーディング報道局長が新聞に投稿

- 苦情① 離脱派 『EU離脱後のイギリスを暗く描きすぎ』
苦情② 残留派 『BBCは公平すぎ』

A truly balanced view from the BBC:
don't blame us for Brexit

Remain supporters have accused the corporation of 'false balance' during the referendum campaign, while Leavers complain it has exaggerated the negative impact ever since. The BBC's director of news responds



David Dimbleby prepares for a BBC EU referendum debate at Wembley Arena in the week of the poll in June. Photograph: Jeff Owers/BBC/PA

The BBC's coverage of the EU referendum was highly regarded by the critics who matter most to us: the public. Our audience research shows that the BBC was the most trusted reporter of the referendum. In fact, our scores for trust rose as the campaign progressed. Complaints were low. And more than 90% of people in the UK came to the BBC during the campaign for the news. That said, there have been two strands of criticism of our coverage. On the one hand, some Leavers have said the BBC reported impartially and accurately through the course of the campaign, but, since the vote of 23 June, we have returned to what they say are our true EU-luvvie colours and our reporting of the prospects for Brexit Britain has been gloomy or hysterical.

- ① ポンドの大幅下落など経済先行きの暗い面も、製造・サービス業の復調なども伝えている。EU離脱が何をもたらすのか予断なく理解し、報道する。
- ② EU離脱は、事実に基づく議論というより、予想が問われた。発言に誤りがあれば、様々な番組で追及した。BBCは時間を基準に公平すぎという批判は正しくない。ストップウォッチで公平性を測らないと明確にしている。

「BBCの仕事は、
ニュースを報道し、議論の場を提供し、発言者を追及する」

放送研究と調査

BBCの「EU国民投票」報道

～公平な報道のためのガイドラインと職員研修～



BBCの視聴者対応

～苦情を紹介する番組『Newswatch』とBBCの説明責任～

